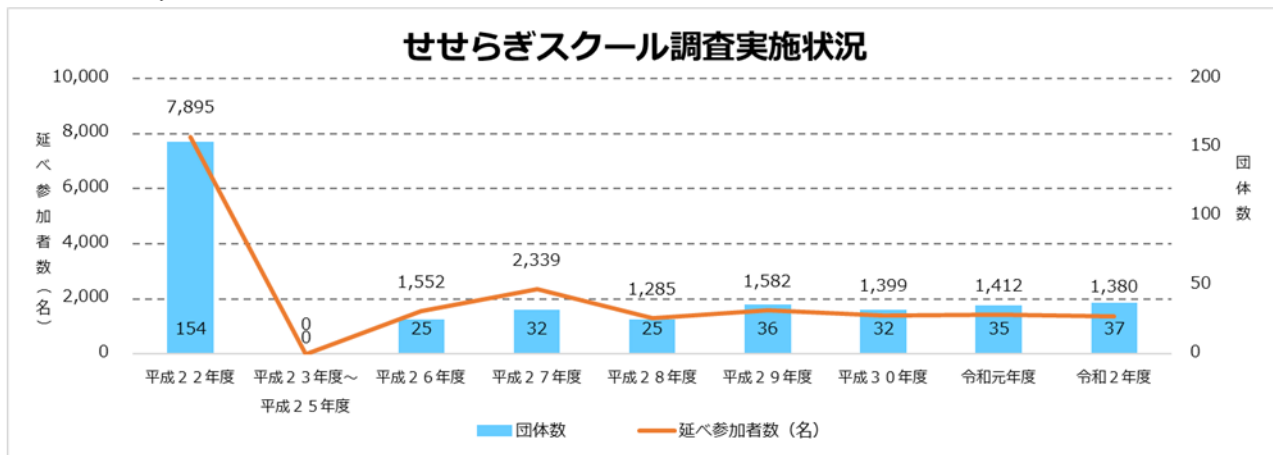


令和2年度“せせらぎスクール”調査結果まとめ

①調査実施状況

令和2年度は、県内各地37団体、延べ1,380名の方々に“せせらぎスクール”の調査に参加いただきました。

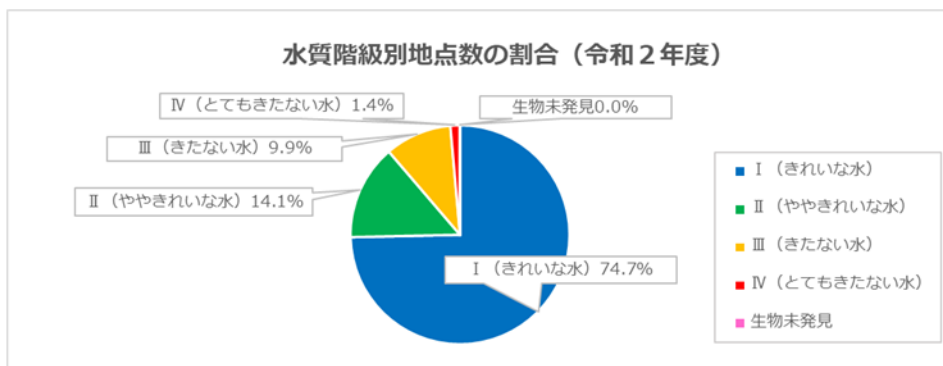
県内の延べ参加者は平成9年から平成22年度まで、毎年全国一位となっていました。原発事故の影響により中断し、平成26年度から参加募集を再開しています。「せせらぎスクール」を通して身近な河川に触れ、水環境保全について考えてみましょう！！皆さまの参加をお待ちしております！



※平成25年度は参加募集を休止していたが、自主的に水生生物調査をした団体が全国水生生物調査への参加を希望する団体(8団体398名)の調査結果を環境省に報告した。

②水質階級別地点数

調査は29河川、71地点で行われました。水質階級Ⅰ「きれいな水」の地点が最も多く、74.7%を占めました。



きれいな水 (水質階級Ⅰ)

ナミウズムシ
ヒラタカゲロウ類
ナガレトビケラ類
カワゲラ類
ヤマトビケラ類
サワガニ
ヨコエビ類
ヘビトンボ
ブユ類
アマカ類



ややきれいな水 (水質階級Ⅱ)



イシマキガイ
ヒラタドROMシ類
オオシマトビケラ
ヤマトシジミ
カワナ類
ゲンジボタル
コニヤンマ
コガタシマトビケラ類

水生生物による 水質判定

イソコツブムシ類
タニシ類
ニホンドロソコエビ
シマイシビル
ミスカマキリ
ミスムシ



きたない水 (水質階級Ⅲ)



アメリカザリガニ
エラミミズ
サカマキガイ
ユスリカ類
チョウバエ類

とてもきたない水 (水質階級Ⅳ)

※実物大ではありません。

(「川の生きものを調べよう」環境省・国土交通省編 より)